

まんさく

小千谷市第4地区民生委員児童委員協議会
(第4地区:岩沢・真人・塩殿・川井)
発行責任者:第4地区 会長 田中 隆治



6月定例会 (南部地区連絡協議会長様との面談会)



2月定例会 (1年間の活動方針・計画を策定)

令和六年度の活動から

- 4月6日 定例会議、総会、懇親会 (真人まるいち)
 - 5月14日 定例会議、市にぎわい交流課「空き家の活用について」 (塩殿ふれあいセンター)
 - 6月11日 定例会議、南部地区町内連絡協議会長様との面談会 (克雪管理センター)
 - 7月9日 定例会議、岩沢・真人駐在様との情報交換会(岩沢住民センター)
 - 8月6日 定例会議、「まんさく」編集会議 (克雪管理センター)
 - 9月10日 定例会議、小千谷市立南小学校長様との情報交換会 (克雪管理センター)
 - 10月8日 定例会議、除雪援助事業説明会 (克雪管理センター)
 - 11月12日 定例会議、活動強化方策振り返り (内ヶ巻集落開発センター)
 - 12月7日 定例会議、忘年会(真人まるいち)
- 心一つにして第四地区はチームワークで民生委員児童委員活動を推進し、地域活動に取り組んでいます。**

相談事があればいつでもどうぞ

- 会長 **田中 隆治**
(若柄・北山・孫四郎)
- 副会長 **高橋 清和**
(桂・山谷)
- 事務局 **大矢 貞栄**
(川井本田・新田・真皿)
- 会計 **関 美和子**
(卯ノ木・塩殿・細島・上坪野)
- 広報部会 **近藤 鈴子**
(冬井・戸屋・大崩・池ノ平)
- 広報誌 **大淵 好一**
(岩山・市ノ口・池之又・田代・小土山・外之沢)
- 委員 **高塩 富雄**
(上沢・万年・栗山・干三)
- 委員 **細貝 秀幸**
(内ヶ巻)
- 委員 **藤巻みゆき**
(石名坂・中山・本村・源藤山)
- 委員 **渡邊 幸一**
(市之沢・山新田・芹久保)
- 委員 **田中 義貴**
(芋坂・時之島)
- 主任児童委員 **中島 貴宏**
(塩殿・川井・岩沢地区)
- 主任児童委員 **引馬 栄子**
(真人地区)



編集後記

今年の夏も昨年同様暑い夏でした。気になるのがこれから迎える冬です。少雪の暖冬なのか、寒さの厳しい冬なのか。しかし、冬を乗り越えれば春です。頑張って冬を乗り越えましょう。

私事ですが、平成27年8月に就任してから令和7年で10年になります。最後の1年になると思います。担当地域の皆様のご理解、ご協力よろしくお祈りいたします。

最後になりましたが、第4地区の皆様のご健康を委員一同お祈りしています。

広報担当 大淵 好一

地域の皆さまと共に



小千谷市第四地区
民生委員児童委員協議会
会長 **田中 隆治**

民生委員活動について

副会長 **高橋 清和**

ふとした理由で民生委員児童委員(以下「民生委員」という。)になって早五年が経ちました。時の流れの速さを感じます。そして、来年十一月で二期目の任期が満了します。就任当初は、負担感がかりが強く、やれるかどうか心配でしたが、今、気が付くと地域の皆様のご支援をいただきながら、何とか務めさせていただいております。

毎月の定例会や役員会、関係機関や地域の会議・研修会にもできるだけ出席しています。本務である訪問活動では、地域の対象者の皆様のごところに、毎年の現況調査や毎月二回づつの配食サービス・その他でお邪魔しています。五年経って、やっと少しそれぞれの方々の状況が分かってきたような気がします。

最近民生委員になる方が不足しています。特に年齢に拘らず、専門の経験や知識は必要としない活動内容ですので、多くの方から是非、民生委員になっていただきたいと思っています。

地域の皆さまにおかれましては毎日お元気で過ごしていることと思います。日頃は私たち民生委員として主任児童委員の見守り活動にご理解とご協力をいただいております。令和四年十二月に委嘱をいただいたから早いもので二年が経過しようとしています。地域の役に立てる委員となれるよう月一回の定例会に合わせ研修会を行っています。

また、市全体でも主任児童委員部会や他に三つの専門部会(高齢者福祉・児童福祉・障がい者福祉)があり、年二回の視察や勉強会を行っています。私たちの任期は三年間です。任期中に全員が全ての専門部会を経験できるよう一年交代で担当しています。今回の「まんさく」では部会に参加した委員から感想を含め活動の様子を紹介させていただきました。これから寒さの厳しい時期を迎えます。足元も悪くなります。十分にご注意いただきご家族お揃いで良い新年をお迎えいただきますようご祈念いたします。一年間ありがとうございました。

私も、いずれはお世話になる身と考え、微力ながらこの五年間活動してきました。地域の皆様の役に立ったかどうかはわかりませんが、民生委員活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

県外視察研修に参加して

田中隆治

小千谷市民生委員児童委員協議会では、年一回県外視察研修を行っています。今年六月七日(金)・八日(土)石川県に行つてまいりました。視察のメインは「かほく市」の民生児童委員協議会との情報交換です。人口や世帯数など小千谷市とほぼ変わらない事から震災前から訪問受入れの打診を行つておりました。「かほく市」は県のほぼ中央に位置しているというものの、能登半島地震の影響は少なからずあったものと思ひますが快く受け入れていただきました(有難く感じました)。「かほく市」は平成十六年三月に三つの町が合併し誕生しました。そのような経緯もあるのか三つある地区組織が主体で市の運営が行われており、住民や関係機関へのアプローチなど参考になる事例をお聞きする事が出来ました。今後の活動に活かしていきたいと思ひます。



宿泊先、辰口温泉「たがわ龍泉閣」前で

方が色の組み合わせを考えるのが楽しいと職員さんと笑顔で話していたのが、とても印象的でした。

次に伺つたひかり工房はさつき工房より規模が大きく、作業場もまるで工場のように施設利用者の皆さんが黙々と作業をしていました。その中でも元気な男の子がいて私たちに元気にあいさつをしてくれました。

皆さんが仕事に一生懸命取り組んでいる姿を見て応援したい気持ちになりました。

ただ、最近見た新聞に全国で五千人の障がいを持っていらっしゃる皆さんが解雇されたという記事が大きく載っていました。記事によると国からの助成金が減り、前記のような事業所の閉鎖が相次いでいるとのこと。

このように障がい者を取り巻く環境が厳しくなってきたことが気がかりでなりません。この研修に参加しなければ身近な事と思えなかつたので大変勉強になりました。

児童福祉部会に参加して

細貝秀幸

本年度、児童福祉部会を二名(関・藤・細貝)で担当させて頂いています。第

また、民生委員児童委員のなり手の確保に苦慮しているとお話も聞きました。第四地区からは九名の委員が参加しました。「かほく市」の関係者の皆さんへの感謝の思いと石川県の復興に少しでも貢献できればと思ひ(意気込み)でお土産を沢山買い帰つてまいりました。

高齢者福祉部会に参加して

渡邊幸一

配食サービスの見学に参加して来ました。最初に調理室の見学、コーディネートターの林理奈子さん作成のレシピと配食図が書かれたホワイトボードに従つて配食ボランティアの皆さんがてきぱきと活動していました。その間に林さんは配達ボランティアの人に本日の不在者情報を連絡して配達ボランティアの人達が出発して行きました。

その後、林さんの講話が有りました。

配食サービスは在宅の一人暮らしの老人や高齢者等に対し、昼食弁当を配食する事により、食生活の助長と安否確認を行い、併せて地区福祉の向上を目的として平成五年十月から開始されたそうです。

現在の課題点として、

一回研修会は六月十九日市役所で開催され内容は「ヤングケアラーについて」でした。ヤングケアラーは家族のケアをする為に、家事や家族の世話などを日常的にする子供達を指します。小千谷市の現状等の説明もあり大変勉強になりました。第二回研修会は十月二十九日教育センターで開催予定です。内容は、①「教育センターから見た子供達の様子」、②「マイルーム適応指導教室の現状について」です。私達三名とも初めての部会であり、研修会で聞く事全てが新鮮であり本当に勉強になります。児童福祉部会長の第二区猪俣さんは大変活発であり圧倒されます。私達も部会長に圧倒されてばかりでなく、頑張つて行こうと思ひます。期間は一年間ですが前向きに進んで行きます。どうぞ宜しくお願い致します。

楽しかった「みんなの食堂」

主任児童委員 引馬栄子

主任児童委員部会では、これまで座学が多かったですが、今回はサンラック主催の「みんなの食堂」のボランティアを行いました。「みんなの食堂」とは、子どもの貧困問題に関連して、自宅で十分な夕食が摂

〇物価高で四〇〇円の予算で厳しくなっている。

〇配食、配達のボランティアが不足している。

〇市内全域の事業ではあるが、また認知不足と感じているので民生委員でもアピールして欲しい。という内容でした。

この後に本日の天ぷら弁当を美味しくいただきました。

障がい者福祉部会に参加して

大矢貞栄

去る六月二十七日表題の研修で市内にある、さつき工房、ひかり工房を視察させて頂きました。

まずはさつき工房内にある芽咲庵に入りました。蔵風の店内はちょっとしたカフェのようで二階の席でアイスコーヒーとワッフルをいただきました。ここでは施設利用者の方が就労訓練で調理や給仕をするとのこと。とても居心地が良かったのでまた行つてみたいです。

隣接するさつき工房では、牛乳パックを再利用したイスや廃棄された傘の布でエコバッグを作っていました。作業されている

れない子どもたちに少しでも栄養のある物を、ということに全国的に広まりました。

多くは賛同者や企業の皆さんから食材を提供してもらい、民間が運営するものです。

小千谷ではなかなか実現できませんでしたが、近年「フードバンク」さんや「サンラック」さんが「子ども食堂」を始めました。子どもだけでなく大人も…ということに「みんなの食堂」と呼んでいます。七月二十七日当日は、お客さん百三十人と大盛況でした。また各グループ、個人がボランティアに参加しており、これは百人位でした。中には小学生・高校生もいて感心しました。

代金は子ども無料、大人二百円でたくさんのお天ぷらに手打ちうどん、おまけのポテトサラダもあり、皆さん大満足のようでした。正直お店の物よりおいしく感じました。私自身も学生時代の文化祭の模擬店を思い出し、大いに楽しんだ半日でした。

